

福島経済マンスリー

8月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 平成27年8月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動や消費動向の一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では5ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、17ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が4ヵ月連続、保証金額と請負金額は2ヵ月連続でいずれも前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が2ヵ月連続、床面積と工事費予定額が3ヵ月ぶりですれも前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は2ヵ月ぶりですれも前年を上回った。内訳をみると、分譲が3ヵ月連続で前年を下回ったが、持家が4ヵ月連続、貸家が2ヵ月ぶりですれも前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が2ヵ月連続で上昇したが、前年比が10ヵ月連続で下降した。業種別の前月比をみると、11業種で上昇し、8業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月と変わらなかったが、原数値が前年を0.04ポイント上回った。一方、雇用保険受給者実人員は23ヵ月ぶりですれも前年を上回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は7月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		27年3月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 6.4	8.7	6.0	0.7	2.5	2.6
	乗用車新車登録台数	△ 15.0	△ 8.1	△ 9.6	△ 7.5	△ 17.6	△ 4.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 25.5	30.9	△ 29.9	15.5	△ 44.7	△ 22.9
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	27.5	69.0	△ 17.2	△ 16.4	0.6	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 21.3	34.3	26.0	12.3	△ 14.4	20.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注1}	△ 8.4	△ 2.6	△ 8.5	△ 5.7	△ 2.2	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注1}	0.06	0.04	0.03	0.00	0.05	0.04
	雇用保険受給者実人員	△ 12.5	△ 13.4	△ 12.7	△ 3.6	△ 4.2	0.1

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		27年3月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	12.3	△ 5.9	6.3	△ 5.7	1.0	5.0
	乗用車新車登録台数	66.3	△ 56.3	1.5	26.6	△ 11.2	△ 19.1
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 2.0	△ 6.7	△ 37.5	118.9	△ 44.2	△ 10.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	1.1	△ 35.8	△ 20.7	44.2	△ 51.6	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 16.3	31.5	16.1	14.7	△ 15.0	△ 6.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注2}	△ 1.3	△ 3.4	△ 3.6	1.4	1.9	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注2}	△ 0.09	0.01	0.01	△ 0.02	0.06	0.00
	雇用保険受給者実人員	1.6	△ 1.7	8.4	11.3	0.3	△ 0.6

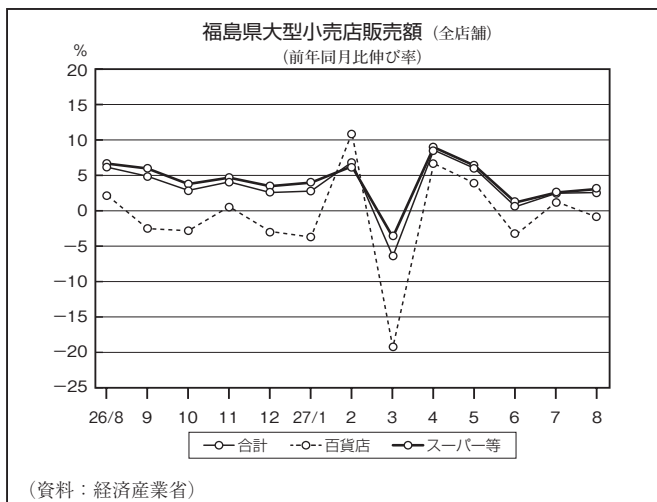
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

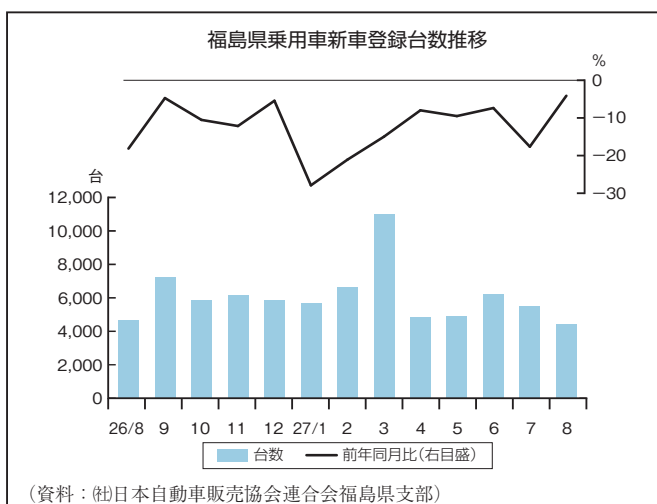
大型小売店：5ヵ月連続で前年比増

8月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で217億70百万円（前年同月比+2.6%）と5ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品などが前年を下回り、合計では同△0.9%となった。一方、スーパーは、飲食料品と衣料品が前年を上回ったことなどから、合計では同+3.1%となった。



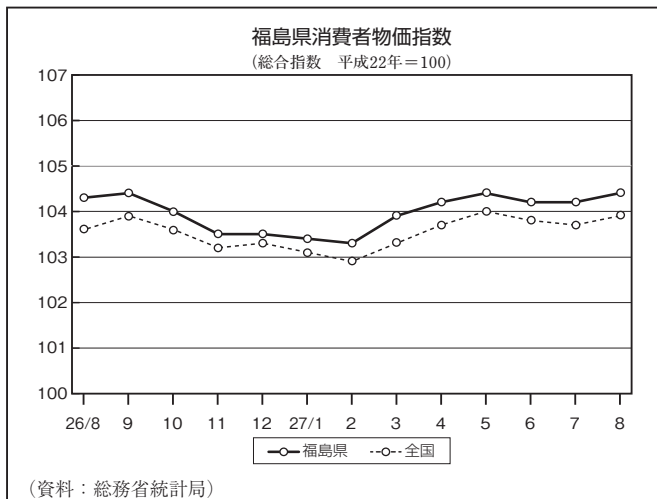
乗用車販売：17ヵ月連続で前年比減

8月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で4,437台（前年同月比△4.3%）となり、17ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、小型車が1,560台（同+4.1%）と3ヵ月ぶりで前年を上回ったものの、普通車が1,385台（同△4.9%）と2ヵ月連続、軽乗用車が1,492台（同△11.2%）と8ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。



消費者物価指数：前年比、前月比とも上昇

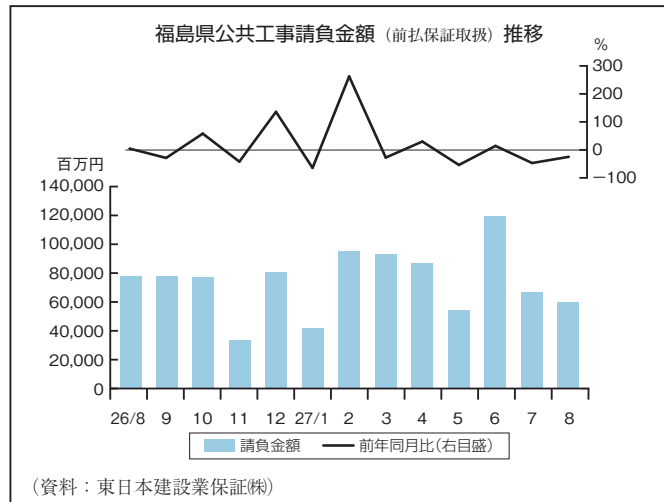
8月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、104.4と前月比+0.2%、前年同月比+0.1%となった。費目別に前月比で見ると、「教養娯楽」が100.6（前月比+1.5%）など3費目で上昇したものの、「被服及び履物」の98.9（同△2.8%）など4費目で下降した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月連続で前年比減

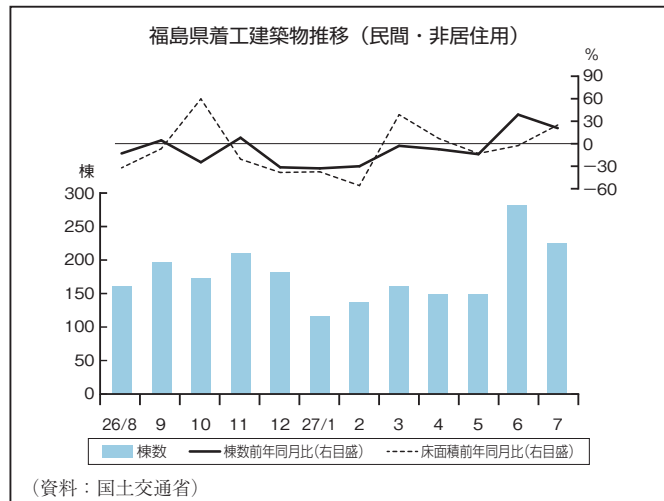
8月の公共工事前払保証取扱は、件数が676件（前年同月比△2.7%）と4ヵ月連続、保証金額が329億49百万円（同△9.2%）、請負金額が603億24百万円（同△22.9%）と2ヵ月連続でいずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が3ヵ月ぶりで前年比増

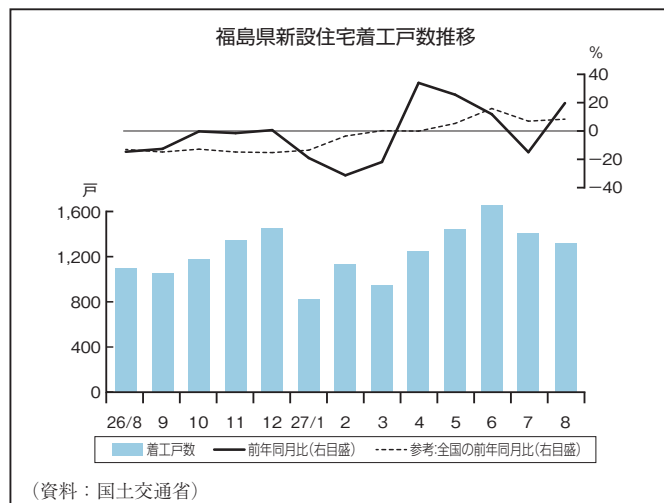
7月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が224棟（前年同月比+20.4%）と2ヵ月連続、床面積が83,609㎡（同+24.5%）、工事費予定額が128億10百万円（同+0.6%）と3ヵ月ぶりでいずれも前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：2ヵ月ぶりで前年比増

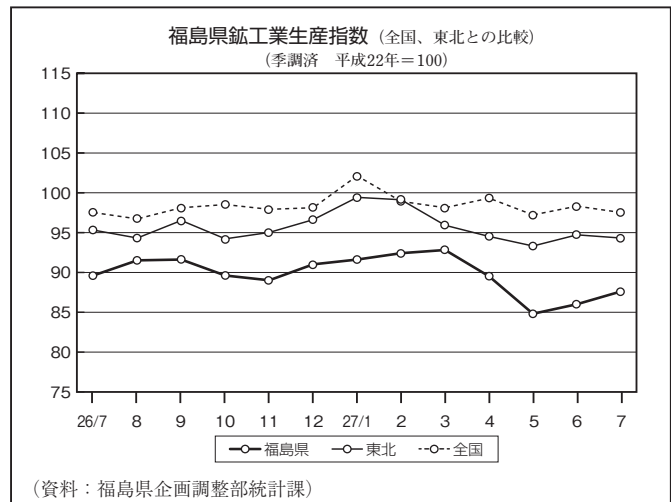
8月の県内新設住宅着工戸数は、1,321戸（前年同月比+20.1%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。主な利用関係別にみると、「分譲」が115戸（同△0.9%）と3ヵ月連続で前年を下回ったものの、「持家」が627戸（同+7.5%）と4ヵ月連続、「貸家」が576戸（同+44.7%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比は下降、前月比は上昇

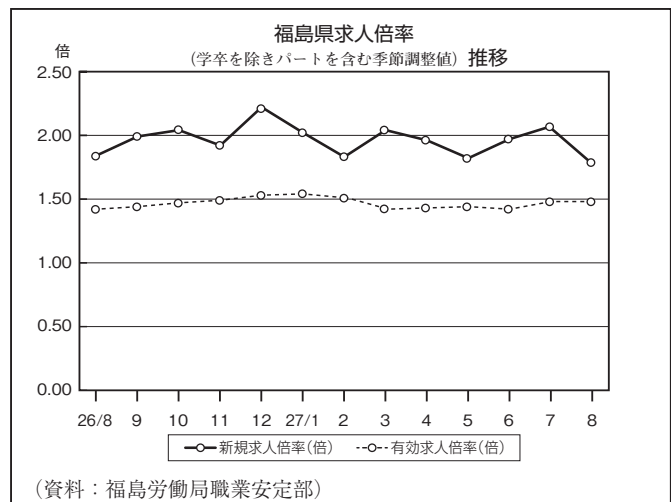
7月の鉱工業生産指数は、87.6（季節調整値）で前月比+1.9%と2ヵ月連続で前月を上回ったものの、原指数が94.4で前年比△2.2%と10ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「繊維工業」（前月比+25.9%）など11業種で上昇したが、「印刷業」（同△5.8%）など8業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は23ヵ月ぶり前年比増

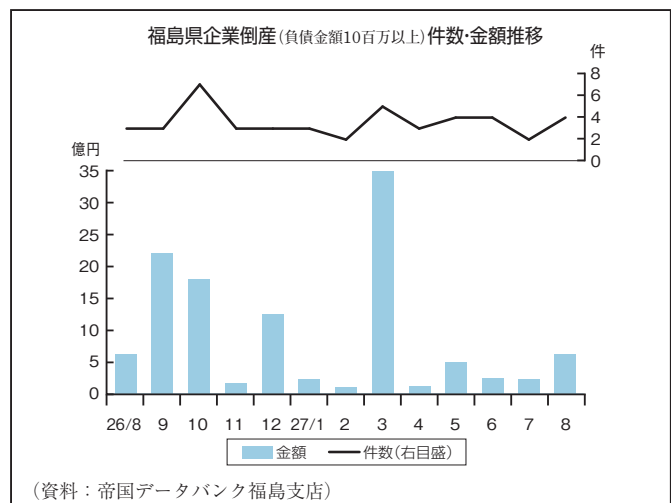
8月の新規求人倍率は、季節調整値が1.79倍（前月比△0.28ポイント）、原数値が1.96倍（前年同月比△0.09ポイント）となった。また、8月の有効求人倍率は、季節調整値が1.48倍（前月比0.0ポイント）、原数値が1.48倍（前年同月比+0.04ポイント）となった。また、8月の雇用保険受給者実人員は6,961人（前年同月比+0.1%）と23ヵ月ぶり前年を上回った。



企業倒産

企業倒産：件数が前年比で増加

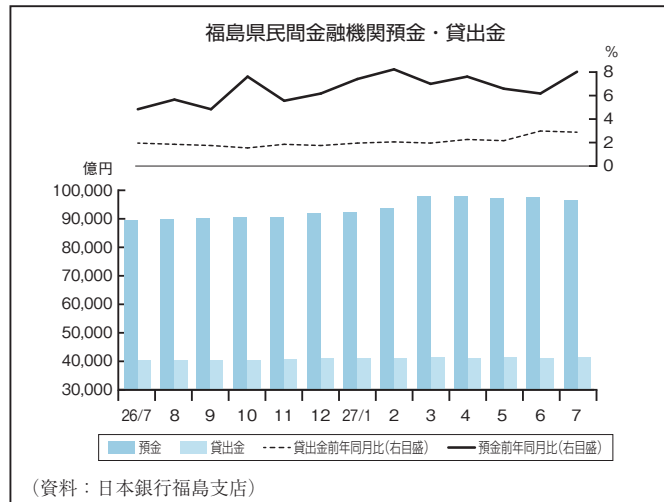
8月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が4件（前年同月比+33.3%）、負債総額が6億34百万円（同△2.8%）となり、件数は前年を上回ったが、負債総額は前年を下回った。業種別では、建設業、製造業、卸売業、小売業が各1件となった。



金融動向

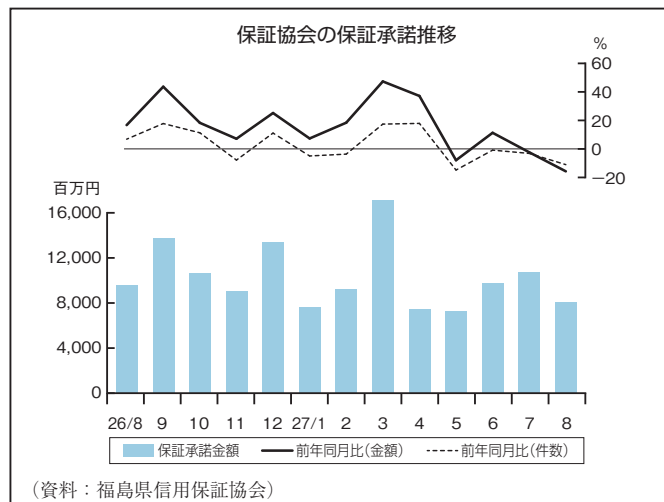
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の7月末の預金残高は、9兆6,759億円（前年同月比+7.8%）と8年5ヵ月連続、貸出金残高は、4兆1,351億円（同+2.8%）と26ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：代位弁済は件数、金額とも前年比減

8月の保証承諾は、件数が707件（前年同月比△12.2%）、保証金額が80億28百万円（同△15.9%）となった。また、8月末日現在の保証債務残高は、件数43,208件（同△8.1%）、金額3,775億19百万円（同△8.9%）となった。一方、8月中の代位弁済は、件数が40件（同△27.3%）、金額が3億7百万円（同△54.6%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

家電量販店 8月の家電量販店の売上高は、テレビや冷蔵庫などが前年を上回ったものの、パソコンなどが前年を下回ったことから、合計ではほぼ前年並みとなった。

ホームセンター 8月のホームセンターの売上高は、カー用品や日用品などが前年を上回ったことから、合計では前年を5%程度上回った。

旅行 7月の旅行取扱額は、国外が団体を中心に前年を大きく上回ったものの、国内が低調だったこと

から、合計では前年実績をわずかに下回った。

高速道路 8月の県内自動車道出入台数は、合計で5,911,485台（前年同月比+7.6%）と、9ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来 IC～山元 IC）は1,816,154台（同+32.0%）と18ヵ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海 IC～西会津 IC）は798,924台（同+9.6%）と5ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。一方、東北自動車道（白河 IC～国見 IC）は2,848,881台（同△1.5%）と2ヵ月ぶり、磐越自動車道（いわき三和 IC～郡山東 IC）は447,526台（同△10.4%）と11ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

福島空港 8月の福島空港国内定期路線の利用状況

は、22,274人（前年同月比△7.7%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は8,561人（同△20.8%）、大阪便は13,713人（同+2.9%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学 8月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国からの受注量減少による影響が続いていることなどから、合計でも前年を下回る生産水準で推移している。

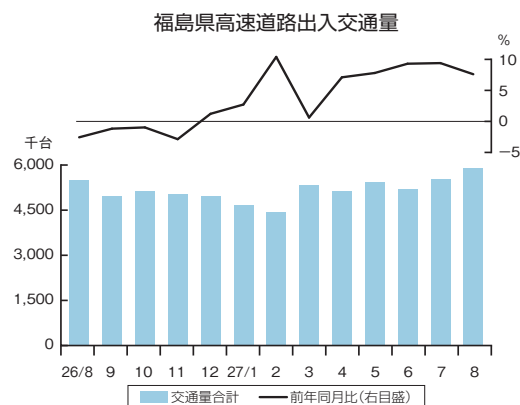
鉄鋼・金属 8月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの受注に伸び悩みがみられ始めたことなどから、前年を5%程度下回る生産水準となった。また、半導体向け電子材は、国内および中国など国外からの受注が減少していることから、前年を約5%下回る生産となった。8月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いていることなどから、前年を50%程度下回る生産となった。陸船用バルブは、中国などの低価格品との競合が続いていることなどから、前年を15%程度下回る生産となった。

輸送用機械 8月の鋳造品は、トラック用では、国内受注が堅調なもの、タイヤインドネシアからの受注が減少しているため、合計では前年を5%程度下回る生産となった。一方、オイルシールは、国内自動車販売の伸び悩みなどによる在庫調整が続いていることから、合計では計画を5%程度下回る生産となった。

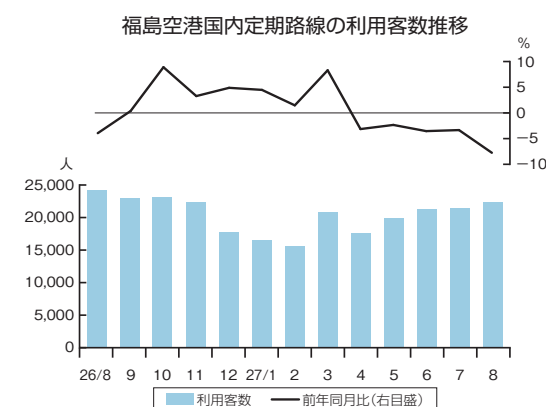
電気機械 8月の電気機械の生産は、誘導炉と配電盤、変圧器がいずれも前年を上回ったことから、合計では前年を20%以上上回った。

情報通信機械 8月の情報通信機械は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）の生産が横ばいで推移したものの、国内向けモバイル基地局の増産により、合計では前年を10%近く上回る生産水準となった。

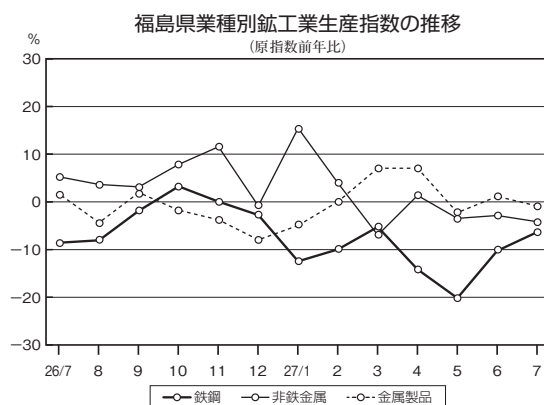
電子部品・デバイス 8月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を40%程度上回った。



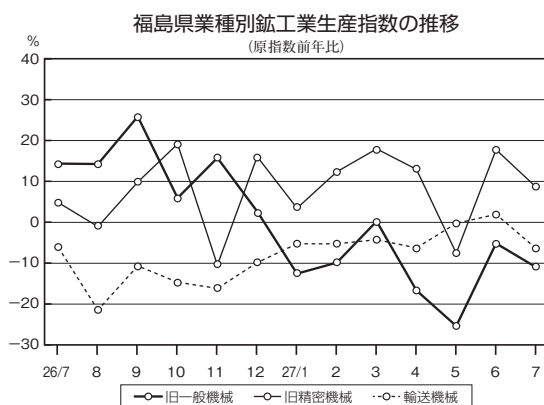
（資料：東日本高速道路(株)東北支社）



（資料：福島県商工労働部空港交流課）



（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県企画調整部統計課）

精密機械 8月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調に推移しており、合計では前年を20%以上上回る生産水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内、国外とも受注が増加したことから、全体では前年を10%ほど上回る生産となった。

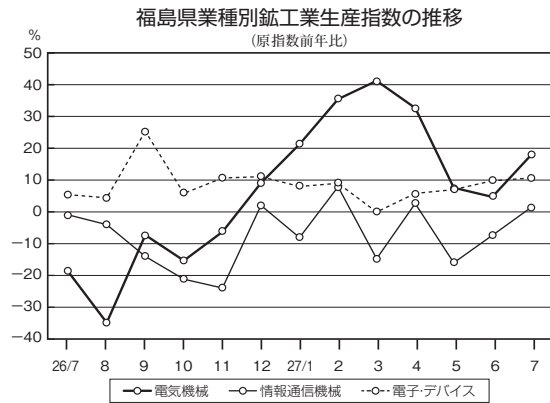
窯業・土石 8月の生コンクリート出荷量は、全体で142,316^m（前年同月比+4.5%）と7ヵ月連続で前年を上回った。民需・官公需別にみると、官公需は県中、相双、会津の3地区が前年を上回り、合計で同+12.7%となった。また、民需は相双と会津を除いた4地区が前年を上回ったことから、合計で同+7.7%となった。

紙・紙加工品 8月の製紙は、インクジェット紙などが前年割れとなったものの、感熱紙が韓国向けの輸出増により、前年を40%程度上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回る生産水準となった。

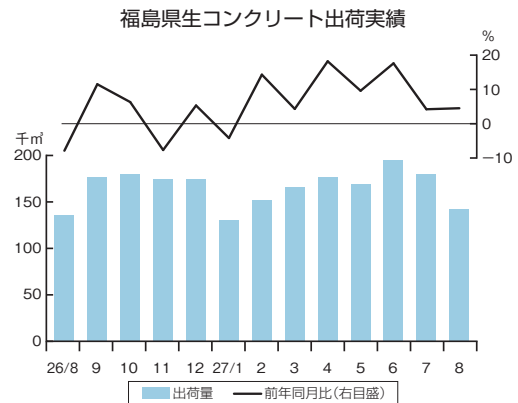
清酒 8月の清酒移出数量は、815kl（前年同月比△1.6%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が384kl（同△8.0%）と4ヵ月連続で前年を下回ったが、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）は431kl（同+4.8%）と5ヵ月連続で前年を上回った。

化合繊維物 8月の化合繊維物は、生産量が前年を20%ほど上回り、生産額も前年を15%ほど上回った。
ニット 8月のニットは、秋冬物製品を中心に安定した受注量を確保しており、前年を5%以上上回る生産額となった。

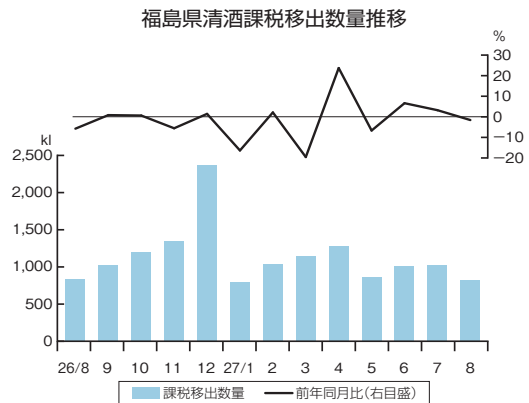
大口電力 8月の大口電力販売量は、458百万 kw/h（前年同月比△3.2%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で88百万 kw/h（前年同月比△15.2%）、「電気機械」で85百万 kw/h（同+5.7%）、「輸送用機械」で45百万 kw/h（同△4.2%）、「化学」で43百万 kw/h（同△2.7%）、「一般機械」で24百万 kw/h（同△3.0%）、「紙・パルプ」で22百万 kw/h（同+17.0%）となっている。



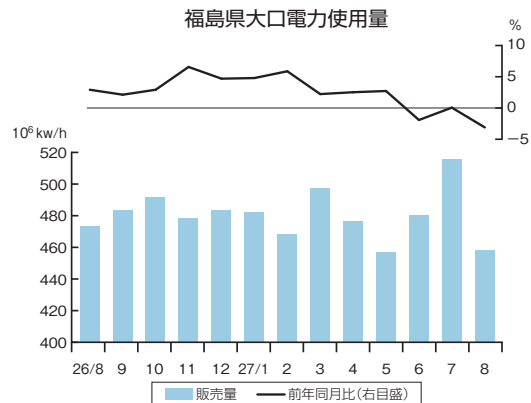
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)